



第353号

2016年 1月

〒461-0004 名古屋市東区葵2丁目6-35 カトリック名古屋教区広報委員会 「教区ニュース」編集部 電話 (052) 935-2223 FAX (052) 935-2254 印刷所 株式会社 荒川印刷 毎月第1日曜日発行

1月1日 世界平和の日

福者パウロ6世教皇は、1967年12月8日ベトナム戦争が激化する中、来る1月1日を平和の日とし、平和のために特別な祈りを捧げるよう呼びかけました。それ以来全世界のトリック教会は毎年1月1日を「世界平和の日」とし、戦争や分裂、憎しみや飢餓などのない平和な世界が来るよう祈っています。平和はキリスト教そのものに深く根ざしています。キリスト者にとって平和を唱えることは、キリストを告げ知らせることです。

教区ホームページ

福音のひびき

1月の説教者

- 1日 神の母聖マリア ジョン・グラハム (各務原・江南教会)
- 3日 主の公現 太田 実 (名古屋教区)
- 10日 主の洗礼 石脇 慶總 (鳴海教会)
- 17日 年間第2主日 レイナルド・ティボン (大垣教会)
- 24日 年間第3主日 鄭 有喆 (美濃加茂教会)
- 31日 年間第4主日 ティブルティウス・ヘリ (瑞浪教会)

新しい年と共に、教会の扉を開きましよう

名古屋教区司教 松浦 悟郎

名古屋教区の皆さま、新年明けましておめでとうございます。私達は1月1日、神の母マリアと共に世界の平和を願って新しい年を始めました。次第に暴力的になっていく世界にあって、キリストがもたらした真の平和が少しでも実現しますようにと心から祈りたいと思います。



さて、私は名古屋教区に着座して半年になりましたが、特に昨年末、「神のいつくしみの特別聖年」の開始と共に教区の方針を示すことができ、新しい決意のもとに2016年を迎えることができましたことを心から感謝します。「神のいつくしみ」を人々に示す教会になることができるようこの一年、皆さまと共に歩みたいと思います。私は昨年6月以降、これまでに30ほどの小教区を訪問しました。今年も続けて、まだ訪問していない小教区からはじめて、カトリック学校や施設なども訪問したいと思っています。それぞれの地域で信徒が主の目を祝い、福音宣教のための活動を続けている姿を見ることは、私にとって何よりも大きな励ましと希望です。

ところで、キリシタン時代、1570年には信徒数は20万人まで増えていましたが、司祭の数はわずかに6人です。司祭が一番多かったのは、1

域で信徒が主の目を祝い、福音宣教のための活動を続けている姿を見ることは、私にとって何よりも大きな励ましと希望です。

新しいこの一年が皆さまにとって、またすべての人にとって神の祝福に満ちたものとなりますようにと祈ります。

いつくしみの 特別聖年 開幕!!



いつくしみの特別聖年 開年ミサが12月8日、布池教会で松浦悟郎司教の司式によって行われた。司祭、助祭があわせて50人、会衆として信徒やシスターおよそ100人が参列した。

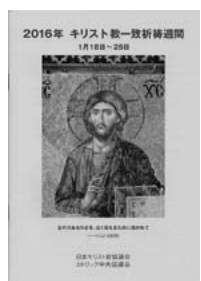
フランシスコ教皇が12月8日を選んだ理由について、松浦司教は2点を挙げて説明した。「一つ目は、50年前の1965年12月8日に第2バチカン公会議が終了

した。この会議で決めたことを、教会が改めて取り上げていく、その始まりとするためだ」「これまで、本当にすべての人に教会は開かれていたか」と司教は問いかけた。

「長い間、教会を特権のとりでに閉じ込めていた壁が崩れ、門を開いていく。御子イエスはすべての人を救うために来てくださった。そして、私たちはすべての人に福音を告げるために集められた。もし、これらの行動を起こさなければ、特権のとりでの中に今も閉じこもっているのと同じこと」と指摘した。

1月31日 カトリック児童福祉の日

子どもたちが自分たちの幸せだけでなく世界中の子どもたちの幸せを願い、そのために祈り、犠牲と献金をささげます。毎日のおやつや買いたいものを我慢してためた子どもたち自身のお小遣いの中から献金することが勧められています。この日の献金は全世界からローマ教皇庁に送られ、世界各地の恵まれない子どもたちのために使われます。



1月18日~25日 キリスト教一致祈禱週間

「すべての人を一つにしてください」という最後の晩さんでのイエスの祈りに耳を傾けるわたしたちは、また、折にふれて目に見える一致を示すように求められています。それは共に祈り、支え合う事によって神がすべての人の救いのためにイエスを遣わしたことを「世が信じるため」です。キリスト教諸教会の間で毎年1月18日から25日に定められている一致祈禱週間は、このことを強く意識する機会です。

第28回 愛知同宗連講演会

映画「ある精肉店のはなし」(額田あや監督作品) 上映会 大阪貝塚市での屠畜見学会。牛のいのちと全身全霊で向き合うある精肉店との出会いから、この映画は始まった。家業を継ぎ7代目となる兄弟の心にあるのは被差別部落ゆえのいわれなき差別を受けてきた父の姿。差別のない社会にしたいと、地域の仲間とともに…。 日時 2月8日(月) 13:30~16:00 (開場13:00) 会場 東別院会館ホール 名古屋市中区橋2-8-45 ☎052-331-9576 入場無料・要入場整理券 問合せ・申込み 同宗連担当・早川神父 ☎0568-91-5048 (高蔵寺教会) 主催 同和問題にとりくむ愛知県宗教教団連絡協議会〈事務局〉浄土宗高林寺 ☎0532-45-5745

名古屋教区殉教者祭

殉教者の血はキリスト教徒の種 (テルトゥリアヌス) 日時 2月6日(土) 午前10時30分~ 会場 栄國寺(名古屋市中区橋)境内 キリシタン顕彰碑前 交通 地下鉄名城線「東別院」駅下車4番出口北へ3分 「下茶屋公園」交差点を西へ4分 プログラム ○ロザリオの祈り ○殉教者顕彰ミサ 司式:ミカエル松浦悟郎司教 ご注意 ※会場へは道路沿い南側広場から入場ください。 ※司祭は「赤」のストラ持参をお願いします。 ※顕彰碑、墓碑が建つ区域への立ち入りはご遠慮ください。 問合せ 名古屋教区宣教司牧評議会事務局 ☎052-935-2223 (名古屋教区本部事務局)

越冬炊き出し活動

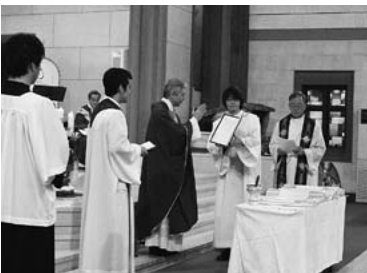
(2015年12月29日~2016年1月3日) 12/29(火) 日本基督教団(親子井) 30(水) カトリック修女連(カレー) 31(木) カトリック修女連 1/1(金) 聖公会 2(土) ルーテル教会(牛井) 3(日) 林グループ 手順 13:30 前日片付け(洗い・厨房掃除・トイレ) 15:00 調理 18:00 搬出 19:00 配食 *時間厳守(福信館開館 13:00) *エプロン、三角巾、マスク等、持参のこと。 給食会場 名城公園(中区三の丸2丁目、名城東小公園内。愛知県警横)

「扉を開き、いつくしみを告げるため

出発しよう。教会の決意示そう

いつくしみの特別聖年が12月8日に開幕し、13日には布池教会で「聖な」とびらを開く式を伴うミサが松浦司教の司式で捧げられた。ブロック代表者、修道会代表者ら約400人が参列した。

ミサのはじめ、開祭の儀を特別にする形で「とびらを開く式」が行われた。司教が「正義の門よ、とびらを開け」と発声すると、会衆一同が「中に入って神に感謝しよう」と答へ、布池教会大聖堂正面の門が松浦司教に



さらに洗礼を思い起こして洗礼の約束の更新が行われた。

司教は「洗礼を思い起こさせるこの水を、神が祝福してください。この水によってイエス・キリストの復活の力を通して

松浦司教はこの意味について次のように話した。

「教皇フランシスコは今日、ローマのカテドラルで聖年の扉を開きます。同じように全世界のカテドラルでとびらを開く式をしてほしいと願わ

れました。全教会が一つになってこの聖年を始めるとい思いなのでしよう」

「今、名古屋教区のブロック代表者がここに集まっています。名古屋教区で働く修道会、宣教会の代表者もここに集まっています。名古屋教区が一つになってこの聖年を味わうしるしが、ここで

「それぞれの小教区でも聖年のとびらを開く式を行っています。こうやって1年間、聖年と一緒に歩んでいきたいと思います。」

「聖年には本来の神の声に立ち帰ろう。改心を

戦争法廃止2千万署名 協力のお願い

2015年9月19日未明の国会で「戦争法」(平和安全保障関連法)が、まったく審議不十分のまま強行採決されました。それに納得のいかない多くの国民(全国民の80%と言われる)がその廃止を求めて反対の声を上げています。

平和を願う心ある人たちが「戦争させない・9条壊すな!総がかり行動」実行委員会を結成して、日本全国に200万の署名を呼び掛けました。

日本カトリック正義と平和協議会もそれに呼応して、戦争法を万が一にも発動させないように署名活動に取り組むことになりました。名古屋教区正義と平和委員会もその運動に参加します。

この活動の期限は2016年5月ですが、できれば1か月ごとにまとめて「正義と平和協議会」に送りたいと考えています。小教区、修道会からも、ある程度の署名が集まり次第お送りください。「戦争法の廃止を求める統一署名」用紙は各小教区、修道会に配布済みです。平和を愛するカトリック信者の御賛同を心からお願いします。

名古屋教区正義と平和委員会
委員長 竹谷 基

教会の扉を開こう

「戦争再発の火種消そう」

南山・平和の集いで松浦司教

7回目を迎える恒例の祈念集いが南山教会有志によって、今年8月9日(長崎原爆投下70年)、南山教会マリヤ館で行われ、会場は189人の参加者で満席となった。

今年原爆投下、終戦から70年の節目の年にあたり、しかも過去の不幸な歴史が繰り返されるおそれのあることから、この平和集いが続けられて



かみしめる機会となった。今年の集会の特質は、新しく名古屋教区長に着座された松浦司教の講話「平和をつなぐ」が基調となったこと。信徒による福音書(マグニフィカト)の朗読、聖歌隊による「シャローム」「アヴェ・マリア」の合唱、それに「長崎純心学園殉難の記録」の朗読などが祈りの会にふさわしい雰

1981年、当時のローマ教皇ヨハネ・パウロ2世が来日し、広島と長崎で訴えた平和のためのメッセージ「過去を振り返ることは、将来に対する責任を担うこと」に

「第1回北陸三県司教の集まりが10月26日に金沢教会で行われた。出席者は松浦司教と北陸三県の司教10名。

松浦司教からは、名古屋教区の宣教について、修道会への依頼、教区

結婚の誓い新たに

布池教会で107カップル



布池教会で結婚式をした夫婦が集まって結婚の誓いを新たにする「結婚誓約更新式」(名古屋教区主催)が昨年8月30日、同教会大聖堂で行われた。

毎年恒例となったこの式に、過去最高の107組の夫婦とその子どもたち、夫婦の親など約400人が集まり、家族みなで手を取り合って、次の言葉で結婚の誓約を更新した。

「わたしたちは家族として、これからも順境の時も逆境の時も病気の時

国・文化超え愛に生きた

「ジュリアおたあ」ミュージカル

豊臣秀吉の朝鮮出兵で身寄りを亡くした少女を小西行長が日本に連れ帰って面倒を見た。信仰深く賢明な女性に育ったジュリアおたあは侍女として徳川家康の寵愛を受け、信仰を捨てず、妻妾にもならなかったため、島流しの刑に処せられる。

秋田県の劇団わらび座による「ミュージカル・ジュリアおたあ」が12月9日・10日、名古屋・金山の日本特殊陶業市民会館で上演された。

オープニングに違和感を感じたが、朝鮮での秀吉の残虐行為、差別に苦しむ少女の姿から目を背けることができないこの物語では、この明るさ、大

行長の死、家康による島流しの刑など、しあわせをつかみかけたと思っ

聖堂改修に 募金で一筆箋

布池教会

布池教会では、聖堂改修基金への募金に協力をしてくださった方に、聖堂の写真がデザインされ

た一筆箋を差し上げています。

3種類1セットで500円以上の協力をお願いしています。表紙は、封筒封

小教区報拾い読み

「かなざわ教会だより」から

「第1回北陸三県司教の集まりが10月26日に金沢教会で行われた。出席者は松浦司教と北陸三県の司教10名。

松浦司教からは、名古屋教区の宣教について、修道会への依頼、教区

定期的(年3回程度)に北陸三県で集合し意見交換してゆく。

○次回の開催日程は2016年1月15日富山教会

○司祭評議会や宣教司牧

で。

わきあいあいの交流

共助組合、中部と京都26人

共助の集いが11月23日、五反城教会で開催された。日頃、共助組合運動に携わっている中部・京都地区(多治見、布池、一宮、港、五反城、及び京都伏見)から26人が参加し、交流を深めた。

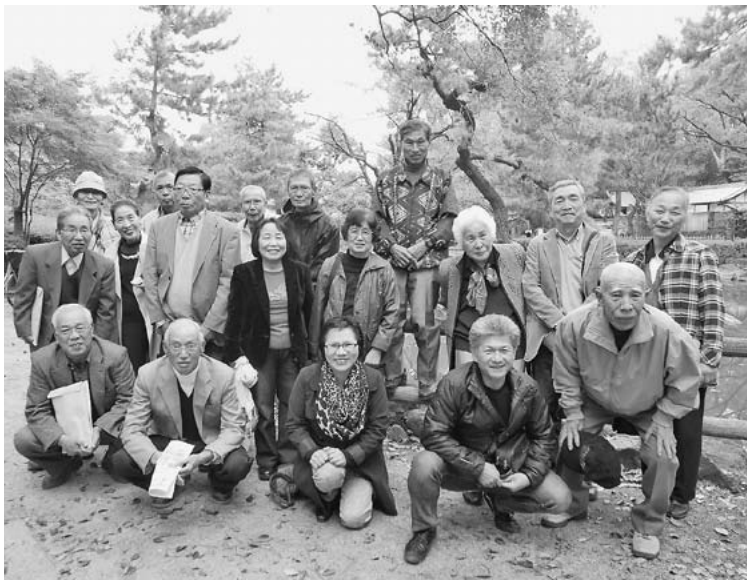
10時30分よりミサ、その後五反城教会パイプオルガンによる、バッハのミサ曲を霞真実子さんの演奏で聴き、パイプオルガンの素晴らしい音色に誰もが感動した。

パイプオルガンのオル

ガニストによるメカの説明があり、どの様な仕組みか教えていただいた。改めて演奏の難しさに感動した。

昼食は4月に新装なった五反城教会信徒会館で参加者同士で交流し、和気あいあいの時を過ごした。

秋色の中村公園文化プラザに移動し、秀吉、清正記念館特別陳列「絵本太閤記」を見学し当時の繊細な絵師の技法に感心した。(丹下俊夫)



「地は平曲」強く祈る

吉田文 オルガンリサイタル

吉田文パイプオルガンリサイタル (Et in Terra Pax) として地には平和()が11月25日、愛知県芸術劇場コンサートホールで開かれた。名

古屋市民芸術祭2015 参加公演の一環。

1部は Kyrie Eleison (主よあわれみたまえ)、2部は Im Memoriam (追悼)、3部は Et in

歌って歌って

賛美の心共有

教団教派超え

日本讃美歌学会 「賛美の夕べ」

日本讃美歌学会中部支部が主催する秋の公開講演会のプレイベント「賛美の夕べ」みんなで歌おう」が8月18日、日本福音ルーテル名古屋めぐみ

教会(名古屋市中南区)で開かれ、38人が参加した。ドイツの典礼学者でカトリック聖歌集編纂アドバイザーのアンズガー・フランツ氏を招いて、ド

イツの新しい賛美歌集について学ぶ9月の講座を前に、教団教派を超えて賛美の心を共有しようという狙い。

歌唱指導は愛農学園(三重県伊賀市)音楽科教師でルーテル教会に属する泉川道子さん。オルガンはカトリックの吉田文さん。

「愛するイエスよ」(賛美歌21)など賛美歌12曲を会場の参加者全員で歌った。1曲ごとに泉川さんが短く指導し、曲ごとに歌詞のモチーフと

なった聖書の朗読や曲の説明も行われた。典礼聖歌の「わたしたちは神の民」では、テンボも速く歌い方に新鮮さを感じられた。

夕べの祈りでは、「主の祈り」がゆつくりと唱えられた。カルフ・エラート作曲(即興的コラール)オルガン演奏もあり賛美の夕べを終えた。

この集いを通して、公開講座の期待がいよいよ高まったようだった。

ドイツの「新」聖歌集

讃美歌の伝統掘り下げる



日本讃美歌学会中部支部による公開講演会「新しいドイツのカトリック聖歌集『ゴッテスロープ(Gotteslob)』」豊かな倉から新しい歌と古い歌を」が9月7日、日本基督教団名古屋中央教会(名古屋市中区)で開かれた。講師はヨハネス・グーテンベルク大学マイ

2013年、ドイツのカトリック聖歌集『ゴッテスロープ』が38年ぶりに改訂された。その編纂アドバイザーを務めたフランツ氏が歌集のこれまでの経緯を説明した。

講演の前半では中世以来のドイツの賛美歌の歴史をひもとく。改革派、ルター派、カトリックそれぞれ

スよく採用されていること、プロテスタントの伝統的賛美歌も、第2バチカン公会議後には外されていたカトリックの伝統的な聖歌も、ラテン語聖歌や東方教会の歌も含まれ、ルター派の『福音主義賛美歌集』(1993年)とは78曲が一致していることなどを解説。新しい賛美歌を意欲的に取り入れ、古い賛美歌もよみがえらせ、教派も超えて良い賛美歌を採用したこと、現代ドイツのカトリック教会の姿勢が表れていると指摘した。

司教協議会典礼委員会に問い合わせたところ、当面、新しい聖歌集の編纂は考えていないということだったが、ドイツに学び、あるべき聖歌集を考えることは大いに意義あることと言えそうだ。

この講演会は名古屋キリスト教協議会、カトリック名古屋教区典礼委員会、日本聖公会中部教区、教会音楽フォーラム、日本基督教団中部教区教育部によって、協賛や後援という形で支援された。

Terra Pax (そして地には平和)の三部構成。

2部の追悼ではジャン・アラン氏の作品が演奏された。グレゴリオ聖歌の連祷では、名古屋グレゴリオ聖歌を歌う会と岡真理子さんが独唱した。

講義を聴いた後に日本カトリック教会の現状を振り返ってみると、ミサの選曲は『典礼聖歌』に偏りがちで詩編の歌ばかり歌っている、しかもそのほとんどがすでに40年ほど前の曲ばかり。作曲家も偏っている。プロテスタントは新しく口語の歌詞を付け直して、古くからある賛美歌を現代に生かそうとしているが、『カトリック聖歌集』の聖歌は顧みられることもない。

障害のある人もない人も共に参加する
第29回教区障害者の黙想会のお知らせ

日時 2月27日(土) 受付開始 13:30
 ~28日(日) 15:00 解散

会場 南山学園研修センター (電話 052-837-6466)
 〒466-0834 名古屋市昭和区広路町単人30
 地下鉄鶴舞線「中村(いりなか)」下車 徒歩10分

定員 50名

講師 幸田和生(東京教区補佐司教(カリタスジャパン担当))
 テーマ 「いつくしみ深く 御父のように
 ~いつくしみの特別聖年にあたって~」

共催 カリタスジャパン
 教区社会福祉委員会・教区障害者連絡会

参加費 会員 10,000円(1泊3食付) 日帰り参加は1日3,500円(1食付)
 参加費は当日受付で。
 ただし、宿泊会場使用料を1週間前に振り込む関係上、2月12日以降のキャンセルは実費納入いただきますのでご了解ください。

申込み・問合せ
 名古屋教区障害者連絡会
 〒466-0037 名古屋市昭和区恵方町2-15 社会福祉委員会内
 FAX 052-852-1422 ☎ 052-852-1426 (問合せのみ)
 *電話での申込みはできません。FAXか郵送でお願いします。

障害の有無に関係なく、どなたでも参加できます。ともに四旬節を黙想しましょう。日帰りも可。詳細案内は後日配布します。

東日本大震災・災害支援金の報告 社会福祉委員会

発災時より社会福祉委員会へ振込まれた支援金の会計報告

(1) 会計報告 (2011.3.17~2015.11.30)	
(収入) 小教区からの支援金総額	23,654,218
(支出) カリタスジャパンへ振込	9,500,000
さいたま教区へ振込	1,000,000
オールジャパン会議交通費	123,620
*大阪教会管区大船渡プロジェクト支援	11,585,774
大船渡ベースへ車いす4台寄贈	123,200
大船渡ベースへ(デジタル)ピアノ寄贈	58,800
ボランティア交通費補助	441,150
支援金残高	821,674円

(2) 前月報告(2015.10.15)から2015.11.30までに寄せられた募金の件数と金額
 ・3件 166,501円 (振込手数料引去後の金額)
 ご協力いただいた方々(個人・団体・敬称略) 金沢教会(2件)、一宮教会、瀬戸教会

司教着座記念チャリティワインによる募金内訳
 11月 149本販売 7~11月までの販売合計1,566本
 支援金合計 782,660円 (振込手数料引去後の金額)
 ※上記、ワイン募金は1本2000円販売価格のうち500円が大阪教会管区を通し、大船渡プロジェクト支援に送金されるものです。よって、(1)の会計報告に含めて計上しています。ただ今好評販売中~!! 感謝!!

(3) 支援金振込先 郵便振替用紙にて
 口座番号 00880-6-1628
 名義 カトリック名古屋教区社会福祉委員会
 「東日本大震災・災害支援金」と記入願います
 *名古屋教区は「カリタス大船渡ベース・地ノ森いこいの家」とNPO法人「障がい者自立センターかまいし」を応援しています。皆様から寄せられた支援金は大阪教会管区大船渡プロジェクト支援に送金する事により、カリタス大船渡ベースの運営のために使用されています。
 *ボランティアに関するお問合せは下記までお尋ね下さい。
 社会福祉委員会(担当:村上) 電話 052-852-1426 FAX 052-852-1422

日本カトリック障害者連絡協議会 第12回総会を開催!

江戸 徹(名古屋教区)さんが 第12期会長に選出される。

第12回日本カトリック障害者連絡協議会の北海道札幌大会及び総会が開催され、次のように決まった。

①第11期事業報告及び会計報告は承認された。
 ②役員改選が行われ、次のように承認された。

第12期役員
 (主に名古屋教区関係の方々のみ掲載)

顧問司教 前田 万葉大司教
 協力司祭 英 隆一郎神父
 会長 江戸 徹(名古屋教区)
 副会長 片山 功一(東京教区)
 副会長 篠原三恵子(東京教区)
 事務局長 海野 淳子(名古屋教区)
 会計 村上 かづ(名古屋教区)

なお書記、運営委員、監事、顧問等は他教区の為省略。

—御父のいつくしみに支えられて—



1月の教区行事予定

9日(土) 宣司評議委員会
 10日(日) 信託教育委員会・神学講座⑨
 10日(日) 城東B会議、三河B会議

27日(土) 信託協・女性研修会
 27日(土) 青年委員会、典礼委員会
 27日(土) 信託協・女性研修会
 27日(土) 28日(日) 教区障害者の黙想会

28日(日) 聖心教会堅信式
 教区行事以外の司教予定

2月の主な教会行事(主日・祭日など)

5日(金) 日本26聖人殉教者(祝)
 7日(日) 年間第5主日
 10日(水) 灰の水曜日(大斎・小斎)
 11日(木) 四旬節愛の献金(四旬節中)
 14日(日) 四旬節第1主日
 21日(日) 四旬節第2主日
 22日(月) 聖ペトロの使徒座(祝)
 28日(日) 四旬節第3主日

9日(火) 樹の会
 11日(木) 樹の会
 13日(土) 樹の会
 14日(日) 樹の会
 16日(火) 樹の会
 18日(木) 樹の会
 20日(土) 樹の会
 21日(日) 樹の会

4日(木) 教区顧問会
 6日(土) 教区顧問会
 7日(日) 教区顧問会
 9日(火) 教区顧問会
 11日(木) 教区顧問会
 13日(土) 教区顧問会
 14日(日) 教区顧問会
 16日(火) 教区顧問会
 18日(木) 教区顧問会
 20日(土) 教区顧問会
 21日(日) 教区顧問会

1月の教会行事

1日(金) 神の母聖マリア(祭)
 2日(土) 世界平和の日
 3日(日) 主の公現(祭)
 10日(日) 主の洗礼(祝)
 17日(日) 年間第2主日
 18日(月) 25日(月) キリスト教一致祈禱週間
 21日(木) 聖アグネスおとめ殉教者(祝)
 24日(日) 年間第3主日
 25日(月) 聖パウロの回心(祝)
 26日(火) 聖テモテ聖テトス司教(祝)
 28日(木) 聖トマス・アクイナス司教(祝)
 31日(日) 年間第4主日
 カトリック児童福祉の日(献金)

11日(月) 教区中高生会
 12日(火) 濃尾B会議
 14日(木) 樹の会
 16日(土) 教区顧問会
 17日(日) レジオ・マリエ名古屋クリア
 19日(火) 司教を囲む信徒新年の集い
 19日(火) JCN A(カトリック看護協会)
 20日(水) 社会福祉委員会
 21日(木) 司祭月集
 23日(土) 青年委員会
 24日(日) 終身助祭志願者・祭壇奉仕者選任式、教会学校教師会
 30日(土) 殉教者顕彰委員会
 31日(日) 典礼委員会

28日(日) 聖心教会堅信式
 教区行事以外の司教予定

1月

1日(金) 新年ミサ(布池10時)
 3日(日) 教区新年ミサ
 13日(水) 名古屋カトリック幼稚園・園長会
 19日(火) 全国教誨師会(布池)
 22日(金) 大阪管区司教会議
 26日(火) 南山学園評議員会
 28日(木) 30日(土) 外キ協全国会議

2月

8日(月) (中央協) 難民移住移動者委員会
 10日(水) 灰の水曜日ミサ(布池7時)
 15日(月) 19日(金) 臨時司教総会

告知板

▼宣司評議委員会事務局から 2016年度の聖書研修コースは開講しません。10月4日(日)開催の宣司評議委員会常任委員会で承認されました。

▼特別聖年折りのカードの訂正
 「いつくしみの特別聖年」折りのカード文中で、「マグダラのマリア」が「マグダラのマリア」と表記されています。正しくは「マグダラのマリア」です。折りの際には正しい名称で唱えてください。(カトリック中央協議会)

◆1月の炊き出し
 木7日布池、14日東海・樹の会・南山、21日聖霊・樹の会・南山、28日城北橋
 金8日喜望の会、15日長浦、22日恵方町、29日南山

ホームレス越冬炊き出し募金

○御寄付を願うもの:現金、防寒着、毛布(新品に近い物)
 ○ボランティア募集(お問合せください)
 郵便振替 00870-4-93228 口座名「福信館炊き出し」
 問合せ FAX 052-935-7195

神言会多治見修道院・黙想会

閑静な場所、広い院庭で黙想と心身の保養を!

1月16日(土) 10:00~17日(日) 16:00 指導:及川神父
 イエスは語る「あなたは孤独と感じたらどうしますか」と。対象:信徒

2月6日(土) 10:00~7日(日) 16:00 指導:及川神父
 イエスは語る「あなたはそのまま生活していたら10年後どうなると思いますか」と。対象:信徒

料金 宿泊費2,500円+指導者への謝礼+自由献金
 食事 仕出し弁当又はスーパーで購入。
 申込み 神言会多治見修道院研修センター(9時~16時30分)
 ☎0572-22-2038 / Fax 0572-22-2076
 携帯電話 090-7696-8089

聖パウロ女子修道会(パウロ書院)からのお知らせ

「読書会」

日時 毎月第3土曜日 1月16日、2月20日、3月19日
 午後2時~3時30分まで
 場所 聖パウロ書院1階ホール
 書籍 『キリスト教とは何か①復活の秘儀をめぐって』をつかいます。

ロザリオの祈り

日時 毎月第2日曜日 午後2時~(40分程)
 場所 聖パウロ女子修道会2階チャペル
 シスターたちが毎日お祈りしているチャペルで一緒にロザリオの祈りをしませんか。どんなことでも、ロザリオの祈りをとおして聖母マリアに打ち明け、恵みをとりたいいただきます。

☆ ☆ ☆
 対象者 信者さんに限りません。どなたでもお越しください。
 問合せ 名古屋市東区葵1-13-2 ☎052-936-4443
 担当・シスター森

司教を囲む信徒新年の集い

日時 1月17日(日)
 場所 布池司教座聖堂
 時間 午後2時~午後5時
 内容 14:00~15:30 司教ミサ・新成人祝福式
 15:45~17:00 階下ホールで軽食パーティー
 グロー司教兄弟バンド「ビートルズ」演奏など
 会費 500円(新成人は無料です)

《聖書による子育ての集い》

子育ての責任を自分一人に負わされていると感じているお母さん、互いに経験を分かち合い学び合いながら、子育ての喜びを発見していきましょう!「見つけた 子育てのよろこび」を参考にします。

日時 毎月第2日曜日 ミサ後、約1時間
 場所 東山教会小聖堂
 対象 小学低学年くらいまでのお子さんを持つお母さん
 ☆お子さんを連れての参加もできます。
 担当 シスター渡邊かをる(援助修道会)
 ※事前の申し込みは不要です。
 ※お問い合わせは、シスター渡邊まで。
 連絡先 援助修道会 (052-753-7080)

青年のための聖書の学び

自分の人生を切り開きたいわかものたちへ

対象 18歳から30歳(青年男女)
 日時 1月17日(日) しるし
 2月28日(日) 一番偉い人
 午後2:00~7:30(高校3年生は4:30まで)
 詳細 1:30~ 玄関を開けます。2:00~ 「学び」
 3:00~ 「分かち合い」、4:00~4:30 おやつ
 5:45~ ご聖体礼拝、晩の祈り、夕食
 7:30 終了
 おやつと食事は自由参加、会費:自由献金
 午後4:30までの参加の方は申し込み不要。
 場所 聖マリアの無原罪教育宣教師修道会名古屋修道院
 名古屋市千種区園山町1-56
 担当 シスター・碓(いかり)政子 ☎052-782-5850
 FB 「青年のための聖書の学び」
 HP http://www.concepcionistas.jp/

第43回典礼研修会のご案内

テーマ 「みこころのままに一聖週間の典礼」
 講師 典礼委員会委員長 プレンダン・ケレハ師(神言修道会)
 日時 2月11日(木・祝) 10:00~16:00
 (9:30受付、15:30よりミサ)
 会場 南山教会マリア館
 参加費 500円
 持ち物 「別冊毎日のミサ-聖週間と復活の八日間」(カトリック中央協議会発行)、弁当
 申込締切 1月30日(土)
 申込方法 申し込み用紙を南山教会 (FAX 052-836-2253)へお送りください。
 メールにて申込み希望の方は申込みフォームをお送りいたしますので下記メールアドレスまでご連絡ください。なお、ホームページからもダウンロードができます。(http://ndlc.jp/)
 問合せ 典礼委員会
 TEL 052-831-9131 (ケレハ委員長・南山教会)
 Email: litqanda@ndlc.jp

WYD クラフ大会、巡礼団の募集開始

2016年7月下旬にポーランドでワールドユースデー(WYD)・クラフ大会が行われる。同大会への公式日本巡礼団メンバーの募集が10月1日から始まった。申し込み期間は来年の4月12日まで。

概要は以下のとおり。
 コース (Aコース) 7月23日~8月2日、11日間。30万円
 (Bコース) 7月23日~8月5日、14日間。35万円
 (ともに燃油サーチャージ、現地出入国税等を含む)
 発着地 成田、関西、福岡(エコノミークラス)
 募集人数 150人
 参加資格 18歳(高校生を除く)~35歳。国籍不問。
 申込方法 日本公式巡礼団事務局
 ☎03-5632-4480、FAX 03-5632-4465
 E-mail wyd@cbcj.catholic.jp
 HP http://cbcj.catholic.jp/jpn/committee/wyd/krakow/